

## 自主課題研究概要

### 人工知能感性情報処理に関する調査研究

情報システム工学科 3年 14番 君島弘晃

担当教官 木村春彦

#### 、研究の背景、方法

##### (1) 目的

人工知能の分野の一つ、感性情報処理について調査し、どのような研究が行われてきて、最近ではどのようなものに適応されているのかを理解する。

##### (2) 調査方法

人工知能についてインターネット、書籍などで調べ、色々な分野がある中から感性情報処理に興味を持ち、更に詳しくそれに関する論文などを参考にして調査した。

#### 、調査結果

##### (1) 人工知能

人間の知能そのものを持つ機械を作ろうとする立場と人間が知能を使ってする事を機械にさせようとする立場の二つがあることが分かった

##### (2) 感性情報処理

感性情報処理について調査し、感性の強化として感性的な近くの劣っているところや能力が十分なところをサポートし、そして人工感性の面で、人間の感情的な動きと同じ動きを機械によって再現していることが分かった。

#### 、まとめ

感性情報処理について調査し理解しようとしたが、表面的なことに対する知識を得ることはできたが、深く理解する事は出来ていなかったことが反省点として挙げられる。

しかし、今回の自主課題研究を通して自分で調べるといふ事の難しさ、また、その面白さを経験できた為、今後に生かせることができると思う。